

2月21日（金） 3階D室 9：00～9：40

1 単元名 よんでつくって楽しもう

2 単元について

| | |
|----|--------------------------------|
| 単元 | ○俳句を鑑賞することを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。 |
| 目標 | ○俳句の創作を通して、感じたことや想像したことを書く。 |

今年度より、週に1回、外国語活動が始まった三年生。異文化理解の第一歩を踏み出す学年だからこそ、それを支える自文化理解につながる活動にもじっくりと取り組んでいきたい。そこで、日本語の語彙を増やし、日本語のもつリズムや響きに十分に親しむことが大切であると考え、年間を通して俳句や川柳の鑑賞および創作活動に取り組んできた。創作活動では、子どもたちの“今”を大切にしたいと考え、てがつく創造活動の体験や学校行事の直後や、季節見つけをした際などに行った。詩に関しては1年生の頃から学習経験があったが、俳句や川柳を重点的に扱うのは今年度が初めてである。そのため、はじめは五／七／五に言葉をあてはめていくのに苦労していたが、次第にリズムに慣れてきた様子が見えてくる。個人差はあるが、自分の俳句・川柳ノートをつくり、日常的に創作活動に取り組んでいる。

1・2学期は、「わたしはこんな作品ができたから聞いてほしい。」という思いを大切に、作者を明らかにして発表し合っていた。鑑賞した児童はその子の人となりや理解しながら、作品のよい所を見つけたり自分なりの解釈を伝えたりすることで交流を深めてきた。一方、どの作品も基本的には“よい”と捉え、課題があるとすれば季重なりや字余りなど形式に関するものが多く、限られた字数でことばを精選する段階には至らなかった。そこで、ことばへの感度をより高め、ことばを吟味しながら思いを表す難しさや楽しさを感じられるように、3学期に入ってから、句会の形式をとり、匿名で句を見合い、感じたことを自由に伝え合う手法に切り替えたところである。「自分にとってよい俳句ってどんな俳句かな。」という問いをもちながら、よりよい俳句にしようという意欲が高まっている。

本単元では、これまでつくってきた作品をもとにカレンダーをつくるという言語活動を設定する。一年間のまとめとなるように作品を振り返ること、季節の移り変わりを感じることを通して、ことばへの感度を高めていきたい。

3 学習指導計画（5時間目／全8時間）

(0) 学習計画を立てる。 (朝活動)

これまでの作品を集めて令和二年度のカレンダーをつくろう。

- ・どの作品を何月のカレンダーにそえるか構成を考えて、カレンダーをつくる。
- ・まだ作品のない季節に関しては、これから俳句をつくる。

(1) これまでの作品を振り返りながら、4月～1月のカレンダーをつくる。 (3時間)

(2) 大学探検をして初春の材を探し、俳句をつくる。 (1時間)

(3) 初春の句会を行う。 本時 (1時間)

(4) 2・3月のカレンダーをつくる。 (2時間)

(5) でき上がったカレンダーを見合い、1年間の学習を振り返る。 (1時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・句会を通してことばの理解を深め、ことばを吟味してよりよい句をつくろうとする意欲を高める。

(2) 予想される本時の展開

| 主な学習活動と子どもの姿 | 留意点 |
|-------------------------|--|
| 1 句会の進め方を確認する。 | ○前時までにはファミリーでお気に入りの一句を選ばせ、掲示しておく。作品に向き合えるように匿名にする。 |
| 2 みんなで俳句をよみ、感じたことを伝え合う。 | ○一人ひとりの感じ方の違いを大切に場づくりを心がける。 |
| 3 学習を振り返る。 | |